

三田市社会福祉協議会 「高齢者つどいの日」

三田の夏の伝統行事

— ちょっと昔のお盆や夏の過ごし方 —

～ふるさと三田の歴史と文化財～より

令和元年 6月26日（水）

三田市地域創生部 市民協働室

文化スポーツ課

はじめに： 三田市は、神戸や大阪はもとより、丹波や播磨といった兵庫県内陸部とのつながりも強く、独特の伝統文化が継承されています。

今回は、“ふるさと三田の歴史と文化財”のなかから、夏の伝統文化や年中行事にまつわるお話を紹介いたします。

三田市域のかつての年中行事をとおして、ひととき多様な文化・地域の暮らしを思い出し、語りあう機会にしたいと思います。

（1）思い出の食文化 ・ ・ みなさんのご当地はどうでしょう？

1) お正月にでる御馳走のお魚は、鯛（たい）のほかに・ ・ ・

鰯（ぶり） ・ 鮭（さけ） ・ 鱈（たら）

2) お雑煮のだしは・ ・ ・ 味噌 ・ すまし

3) お餅は・ ・ ・ 四角い ・ 丸い

4) 5月の節句、「かしわもち」を包む葉は・ ・ ・

柏（かしわ） ・ サルトリイバラ（さんきら） ・ そのほか

5) 粽（ちまき）の包みは・ ・ ・

茅（ちがや） ・ 笹の葉 ・ 竹の皮 ・ そのほか

6) すき焼きは・ ・ ・ 割下と一緒に肉を焼く ・ 先に肉を焼く

7) ネギと言ったら 根の方（白い） ・ 葉の方（緑）

8) お寿司と言ったら・ ・ ・ 押し寿司 ・ 江戸前寿司

9) 桜餅 おはぎ風 ・ 三笠風

10) お醤油 淡口 ・ 濃い口

そのほか、食文化の違いのあるものは・ ・ ・

(2) 三田のかつての一年のくらしと食文化(三田市史より)

夏の行事

田植え準備 種まき、マオコシ、ミズダシ

田植え・・・ワサウエ、ウエダシ エンドウ豆のご飯を食べる

農繁期の食事 午前5時～ 田植え

7時～ 朝食

10時 小昼：カキ餅、豆の煎ったもの

12時 昼：家族だけのとき/蕎麦の佃煮で茶漬け

手伝い人があるとき：空豆ご飯、高野豆腐、かまぼこ

苗代終い・・・コウジンナエ、大釜に供える

サナブリ・・・田植えの終了。村全体の休息・慰労会/町に芝居見物に行くことも

サナブリの御馳走：鶏のすき焼き、白飯に魚、等

半夏生(はんげしょう)・・・夏至から数えて11日目(今年は7月2日(火))

植え付けをこの日までに終える。「ハゲ半作」。食べ物は何?

虫送り・・・害虫を追い払う行事

「悪い虫は、御上洛(ゴジョウラク)」と唱えつつ村はずれへ

茅の輪くぐり・・・夏越の祓い、夏病除け

土用・・・「土用」とは二十四節気で「立春」・「立夏」・「立秋」・「立冬」の前18日間のこと。

「土用の丑の日」は、今年は、7月27日(土)

ハラワタモチ(あん餅)、土用餅

ウナギとり、薬草取り

七夕(7月7日)・・・三田では8月にすることが多かった。子どもの行事

井にメダカ、菓子や野菜、茄子でこしらえた馬等

井戸の水替えによい日

夏祭り

三田市は50数社のうち天満神社が13社、夏の天神様の縁日が多い

①神への供物・・・海のもの、山の物、野のもの、神酒、洗米

ゴクサン（お餅）・・・鏡餅、丸餅のほかに

ノシゴク（のぼし御供）・・・ウシノシタ餅

オオゴク（50cmの大餅：神事のあと切り分け）

キリゴク

チギリゴク（丸めずひちぎりにする）

オキョウ、キョウ、オムシ、シラムシ（蒸米（糯米））

海のもの・・・鯛、昆布、スルメ、かまぼこ等

山の物・・・木になる物（栗・柿等）、たまに松茸、鯉

里のもの・・・ズイキイモ（里芋）、豆、生姜の株、

枝なりのゆでた黒豆（枝豆）、大根

そのほか・・・大根のナマス、等

②直会・・・例）宮立ちの膳（末西）：枝なり枝豆、柿、栗、ピラモチ、大

根のナマス

仕来り膳（母子）：ゴボウ、人参、豆腐、竹輪の煮しめ、小豆ご飯、
味噌漬大根

（青野）：ゆで蛸の刺身

（乙原）：ゆで蛸の刺身、しめ鯖の刺身

③家での祭りのご馳走

鯖寿司：鯖を酢でしめて、お腹に寿司飯を詰めて棒状にかたちを整え、寿司箱に並べて詰め重しをして作る。

立 秋

今年は、8月8日（木）

お盆の行事

ナヌカビ・ココノカビ・・・墓地や仏壇の掃除。新仏の経木をもらう

七日盆：仏壇供え/そうめん、ズイキ（里芋）の葉の上に茄子、鬼灯、キュウリ、
茗荷、柿のコマ（賽の目切り）、山椒の実、トマト、ササゲ

14日/素麺、野菜とメエ（海草）と油揚げを炊く

お膳（朝）白ごはん、刻み昆布と茄子の浅漬け

（昼）素麺、メエ、茄子の賽の目切り煮物、色のついた麩の炊いたもの

（夕）白ご飯、南瓜の炊いたもの

（夜食）山菜おこわ（白蒸し）、茄子の胡麻味噌和え、ミヤゲノダンゴ

15日（お盆の最終日）/小豆ご飯（ササゲ豆飯）、南瓜、小芋の炊いたもの、

メエ

夕食後：ミヤゲノモチ（団子）

盆踊り：三田音頭、播州音頭、（地域で違う締め踊り）

地藏盆（8月24日）

大日講（8月28日）：三田では牛の神様、お乳の神様（お米をもらってお粥）

お月見（旧8月15日仲秋の名月）・・・月見団子、里芋、ススキ



▲高さを調節しながら、
茅の輪を鳥居にかける

参考文献：三田市年中行事調査委員会編『三田風土記』合冊版 三田市教育委員会 2000年
三田市市史編さん専門委員会編『三田市史』第9巻民俗編 2003年